

南信州広域連合における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

日常生活圏が一体化している南信州地域において、これまで各市町村の財政的な支援によって、コミュニティバス、福祉バス等を含めた公共交通の存続を図ってきたが、圏域内を運行する公共交通事業者の路線バス撤退が表面化した今、隣接する市町村をつなぐ広域的な交通体系の整備が必要となっている。

また、年々深刻さを増す地球規模の環境問題への対応として、自家用自動車から公共交通への転換が求められており、構成15市町村の共通認識と連携のもと、圏域全体の基幹となる公共交通のあり方、方針等のランドデザインを構築する。

南信州地域交通問題協議会

公共交通利用者(一般住民代表)、
環境団体、福祉事業者、
公共交通事業者、公安委員会、
学識経験者、道路管理者、
15市町村、県現地機関

総合連携計画策定調査実施計画の概要

1) 調査等

- 公共交通を取り巻く諸環境調査
- 公共交通利用者ヒアリング調査
- 公共交通に関する住民意識調査
- 構成市町村担当者ヒアリング調査
- 交通事業者ヒアリング調査
- 統計メッシュデータベース図の作成
- 公共交通事業者の路線バス撤退による影響分析
- 公共交通に関する問題点、課題の抽出、整理
- 自家用自動車から公共交通機関利用への転換に向けた方策検討
- 構成市町村の計画整理
- 地域公共交通総合連携計画の策定

2) 広報

- 広報誌を利用した調査結果の広報
- 総合連携計画策定にかかるパブリックコメント

南信州地域における公共交通問題に関する連携・協力のイメージ

